

「天草の崎津集落」 世界遺産登録への道

Road to World Heritage

世界遺産登録に向けた整備が始まる

7月10日に開かれた国の文化審議会で、平成28(2016)年に登録を目指す世界文化遺産の推薦候補となった「天草の崎津集落」を含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」。

9月に開かれる関係省庁連絡会議で、国内推薦が正式に決定する見通しです。

このような中、市では今後増加が見込まれる崎津集落への来訪者の受入態勢の充実を図るため、さまざまな整備を今年度から本格的にスタートしています。

今号では、主な整備の概要などについてお知らせします。

①拠点観光施設整備

予算額：3,411万円

駐車場やトイレ、案内所などを設けた拠点観光施設を建設します。平成27年度の完成に向けて、今年度は施設の設計と建設予定地にある富津体育館の解体を行います。

②案内看板設置

予算額：1,863万円

崎津集落の魅力を紹介する案内看板を設置します。

③小公園・トイレ整備

予算額：4,617万円

崎津諏訪神社付近にある小公園・トイレを再整備します。

④駐車場の改修

予算額：700万円

現在、軽自動車しか駐車できない駐車場を、普通自動車でも安全に駐車ができるように整備します。

⑤建築物の調査・解体・活用

予算額：2,483万円

集落の景観を形成する重要な構成要素になっている建築物の、調査・解体・活用を行います。

◆空から見た崎津集落



【問い合わせ先】本庁・世界遺産推進室（河浦支所内）☎⑦1116

行財政改革

～平成25年度の取り組みの成果をお知らせします～

効果額は10億5,009万円

市では、「10年後の天草市を見据えた持続可能な行政運営の確立」を目指して、平成23年度から同26年度までの4年間を推進期間とする『第2次天草市行財政改革大綱』を策定し、全庁をあげて行財政改革に取り組んでいます。

平成25年度は、廃校施設の利活用策の募集や定員適正化計画に基づく職員数の削減をはじめ、市が行っている事務事業の第三者による評価（外

部評価）を実施し、事業の改善・見直しなどに取り組みました。

その結果、市税などの徴収率の向上、未利用財産の売却などで2億4,928万円の歳入を確保。歳出は、民間委託等の推進や事務事業の見直し・経費節減などにより8億81万円を削減することができ、効果額は10億5,009万円となりました（金額は万円未満を四捨五入しています）。

◆歳入の確保

歳入合計2億4,928万円

税などの徴収率の向上

市税、保育所保育料、
市営住宅使用料

2億1,257万円

未利用財産の売り払いなど

土地・建物2件、
土地のみ17件

1,871万円

新たな財源の確保

広告入り封筒の作成、
ふるさと応援寄附金

1,800万円

◆歳出の削減

歳出合計8億81万円

（▲＝マイナス）

事務事業の見直し・経費削減など

施設の維持管理料の見直し
など

3,316万円

民間委託などの推進

保育所の民営化など

4,406万円

職員定員の適正化

職員の削減、各種手当の
見直し

6億9,462万円

特別職の給与削減

市長・副市長・教育長の
給与カット

268万円

物件費の削減

燃料費の高騰による増加

▲68万円

特別会計など

診療所・歯科診療所の経費
削減

2,697万円

※効果額の算定は、あらかじめ定めている基準年度の実績(数値)と比較して算出しています。

※行財政改革により捻出した財源については、市民生活の維持向上のための各種事業に活用しています。

【問い合わせ先】本庁・行財政改革推進課☎③1111